

新しい校舎での学びが始まる

新校舎の建設工事が、令和9年冬完成に向けてこの春から開始されました。

新校舎は、静岡東高校のシンボルツリーである櫟（けやき）の木がある中庭を取り囲むようにL字型に建設され、

どの教室からも中庭の緑を望むことができる設計で、静かな雰囲気の中、落ち着いて高校生活が送れます。



校歌

詩 谷川俊太郎
曲 林 光

東の空に陽がのぼる

緑の丘に 風が光る

新しい今日 自由な今日だ

その今日に 学ばきびしき

その今日に 生きる喜び

あこがれやまぬ心いだいて

歴史をたずね 宇宙に問いかけ

ひとりひとりが明日を拓く

ひたむきにおおらかに

友よ ゆこう

ふるさとの誇りを胸に

われら静岡東高



SHIZUOKA HIGASHI HIGH SCHOOL 2026

ひたむきに、おおらかに。

静岡県立静岡東高等学校



静岡県立静岡東高等学校

〒420-0923
静岡市葵区川合三丁目24番1号
TEL.054-261-6636
FAX.054-263-5970
URL.<https://www.shizuoka-east.jp>

静岡東高等学校
Webサイト



学校案内図

静岡駅より静鉄バス
瀬名新田行(水梨東高線)約20分
東高前バス停下車



楽しいは ひとつじゃない。

ひたむきに学び、体験し、おおらかに成長する。
静岡東高校は勉学、部活やイベント、様々な活動を通して
一人ひとりにとっての『楽しい』を大切に育てていく場所。
自分らしく目標を目指す環境がここにはあります。
東高で自分自身の可能性を発見し、しなやかにたくましく未来を切り拓こう！
65期生〔65回目の入学生〕として、私達の仲間になりませんか！！

CLUB ACTIVITIES

令和7年度部活動の実績

(令和7年度東海・全国大会以上)

全国大会にも出場するレベルが高い部活が多数！
運動部も文化部も大活躍！
悔いのないよう一生懸命な先輩たちが大勢います！



弓道部

東海高校選抜弓道大会
女子団体 3位
全国高校選抜弓道大会
女子団体 出場



水泳部

東海高校総体
男子100m平泳ぎ 出場



卓球部

東海選手権 出場



陸上競技部

東海高校総体4種目
東海新人大会1種目
全国高校総体2種目 出場



棋道部

全国新人大会 ベスト32



百人一首部

東海地区高校からた大会
読誦の部 優秀読手



マンドリン部

全国高校ギター・マンドリン
音楽コンクール 優良賞

運動部

- 男子バレーボール
- 女子バレーボール
- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 男子テニス
- 女子テニス
- ソフトテニス
- ハンドボール
- サッカー
- 野球
- 卓球
- 水泳
- 陸上競技
- 剣道
- 弓道
- 登山
- 応援団リーダー
- 新体操

文化部

- 報道
- 科学
- 吹奏楽
- マンドリン
- 美術
- 演劇
- 棋道
- 語学
- 百人一首
- 書道

●掲載されているマスク着用写真は、新型コロナウイルス感染症対策を実施している中で撮影されたものです。
この学校案内をご覧いただいている皆さんと同様、現在も感染症対策に学校一丸となり取り組んでいます。

高大連携事業

近隣の静岡県立大学、静岡大学、常葉大学との連携した講座等をととして生徒のキャリア発達を支援し、高い志を持ち、進路目標に挑戦しようとする態度を育成する。

専門教養講座

全学年の希望者を対象に、静岡大学、静岡県立大学、常葉大学で大学受講生として講義を受講し、一定の水準に達すれば高校での単位が認定される。早くから大学での学びを体験し、進学意欲や応用的な学力の取得が期待できる。



高大連携専門教養講座
受講生報告会

SDGs Terakoya

全学年の希望者を対象に、SDGsをテーマに、英語を用いて身近な課題に目を向け、その解決策を考え、行動につなげる力を生徒が身に付けることを目的として、静岡県立大学国際関係学部教授等を学校に招き、SDGsへの理解を深めるゼミナールを実施する。



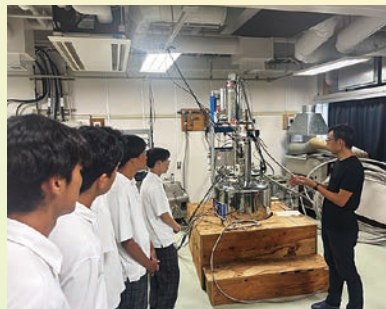
SDGs探究学習相談会

2年生を対象に、静岡県立大学を訪問し、環境生命科学研究内容の紹介や施設見学と共に、「総合的な探究の時間」における学習内容の充実を目的として、食品栄養科学部教授等から各チーム研究テーマに沿ったSDGs課題における質問や助言を受ける。



理系実験講座

全学年の理系進学希望者を対象に、静岡大学の専門的な実習体験や施設見学等をととして、科学的な興味・関心を育てることを目的として、理学部や農学部での実験講座を実施する。理系分野の知見の拡大と理系学部への進学意欲の向上が期待できる。



SDGs探究学習での専門的指導・助言

2年生を対象に、「総合的な探究の時間」において『探究の考え方・見方を働かせ、「持続可能な開発目標」達成に向けて、自己の在り方、生き方を考えながらグローバルな視野を持って課題を設定し、地域社会との関わりの中でよりよい解決策を自ら考える。』力を生徒が身に着けるため、静岡県立大学教授や学生を学校に招き、SDGsの観点に基づく専門的な指導・助言を受ける。



Events 年間行事

4 April

- ・入学式
- ・1学期始業式
- ・対面式
- ・1年生学習初期指導
- ・面接週間(第1回)
- ・土曜授業開始
- ・交通教室(1年)



5 May

- ・生徒総会
- ・中間テスト



6 June

- ・東陵祭(文化祭)
- ・総合学力テスト(1、2年)
- ・球技大会



7 July

- ・期末テスト
- ・野球応援
- ・限界突破Challenge勉強会*
- ・1学期終業式
- ・夏期講習(1、2、3年)
- ・面接週間(第2回)



8 August

- ・夏季補講(3年)
- ・理系実験講座



9 September

- ・2学期始業式
- ・防災訓練
- ・大学模擬授業(1、2年)
- ・遠足
- ・面接週間(第3回)



10 October

- ・体育大会
- ・中間テスト



11 November

- ・保育介護実習(1年)
- ・総合学力テスト(1、2年)
- ・防災講話(1年)
- ・期末テスト(2年)
- ・文化教室

12 December

- ・期末テスト(1、3年)
- ・修学旅行(2年)
- ・ビブリオバトル*
- ・球技大会(1、2年)
- ・2学期終業式
- ・冬季補講(3年)

1 January

- ・3学期始業式
- ・大学入学共通テスト
- ・ビブリオバトル(1、2年)*
- ・「東陵セミナー」発表会(1、2年)
- ・静岡市役所シゴト働き方ガイダンス(1年)



2 February

- ・大学受講生報告会
- ・生徒会長選挙
- ・学年末テスト
- ・マラソン大会
- ・面接週間(第4回)

3 March

- ・卒業式
- ・合格体験講話
- ・3学期終業式



Curriculum

令和8年度入学生が3年間学習する予定のカリキュラムです。

※限界突破Challenge勉強会: 通い勉強会
※ビブリオバトル: 書評大会

1年〔33単位〕		現代の国語		言語文化		歴史総合		公共		数学Ⅰ		数学A		数学Ⅱ		物理基礎		化学基礎		英語 コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		体育		保健		★音楽Ⅰ ★美術Ⅰ ★書道Ⅰ		家庭基礎		東陵セミナー		LHR		専門教養講座	
		2		3		2		2		6						2		2		3		2		2		1		2		2		1		1		1	

2年〔33単位〕		文系		理系		文学国語		論理国語		古典探究		地理総合		★世界史探究 ★日本史探究		数学Ⅱ		数学B		数学C		生物基礎		化学基礎		英語 コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		体育		保健		情報Ⅰ		東陵セミナー		LHR		専門教養講座	
		1		2		3		2		4		5				2		1		4		2		1		2		2		1		2		1		1		1			
		論理国語		文学国語		古典探究		地理総合		地理探究		数学Ⅱ		数学B		数学C		生物基礎		★物理 ★生物		化学		英語 コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		体育		保健		情報Ⅰ		東陵セミナー		LHR		専門教養講座			
		1		1		2		2		1		6		2		3		3				3		2		2		1		2		1		1		1					

★の中からそれぞれ1科目選択

3年 [33単位]	文系3型	論理国語	文学国語	古典探究	★世界史探究 ★日本史探究	★政治・経済 ★芸術演習③ ★古典演習③	選択A ★歴史演習② ★芸術演習② ★古典演習②	表現Ⅱ・ 論理Ⅱ	選択B ★政治・経済 ★芸術演習③ ★古典演習③	英語 コミュニケーションⅢ	表現Ⅲ・ 論理Ⅲ	体育	東陵セミナー	LHR	専門教養講座
	2	2	3	4	5	3	3	4	2	3	3	1	1	1	1
	文系5型	論理国語	文学国語	古典探究	★世界史探究 ★日本史探究	★政治・経済 ★芸術演習③ ★古典演習③	選択A ★歴史演習② ★芸術演習② ★古典演習②	表現Ⅱ・ 論理Ⅱ	選択B ★政治・経済 ★芸術演習③ ★古典演習③	英語 コミュニケーションⅢ	表現Ⅲ・ 論理Ⅲ	体育	東陵セミナー	LHR	専門教養講座
	2	2	3	4	5	3	3	4	2	3	3	1	1	1	1
	理系	論理国語	文学国語	古典探究	地理探究	数学Ⅲ	★物理 ★生物	化学	★政治・経済 ★芸術演習③ ★古典演習③	英語 コミュニケーションⅢ	表現Ⅲ・ 論理Ⅲ	体育	東陵セミナー	LHR	専門教養講座
	2	1	2	3	6	4	4	4	4	4	2	3	1	1	1

☆: いずれかの5単位を選択

※文系3型…主に私立大学をはじめ、3教科型で受験できる大学を志望する生徒 ※文系5型…主に国立大学を志望する生徒

確かな学びが明日の自分を輝かせる

県内屈指の進学実績

毎年、現役生の半数が国公立大学に進学しています。
そのうち、県内国公立大学の合格者数は60人を超えます。



令和7年度の実績(61期生の実績)

東高なら狙える! 目指せる!

国公立大学
合格者

合計 **129** 名

卒業生の47.3%

東北大学(1) 東京科学大学(1) 名古屋大学(3)
大阪大学(1) 神戸大学(1) 筑波大学(2) 茨城大学(3)
埼玉大学(3) 千葉大学(1) 東京農工大学(1)
東京学芸大学(2) 横浜国立大学(3) 金沢大学(2)
山梨大学(2) 信州大学(5) 名古屋工業大学(1)
滋賀大学(2) 和歌山大学(2) 広島大学(1)
東京都立大学(3) 横浜国立大学(3) 都留文科大学(3) ほか

県内国公立大学
合格者

合計 **53** 名

卒業生の19.4%

静岡大学(21)
浜松医科大学(1)
静岡県立大学(29)
静岡文化芸術大学(1)
静岡県立農林環境専門職大学(1)

難関私立大学
合格者

合計 **63** 名

卒業生の23.1%

早稲田大学(1) 慶応義塾大学(1)
東京理科大学(5) 明治大学(5)
立教大学(2) 中央大学(9)
法政大学(11) 青山学院大学(1)
学習院大学(2) 関西大学(3)
関西学院大学(1) 同志社大(1)
立命館大(21) ほか

学年別保護者説明会、 個別相談

HR懇談会のほか、学年ごとの保護者説明会を実施し、
各種進路情報を提供したり、個別の相談に応じたりする
など、保護者・生徒が一体となって生徒の進路実現に向
かう環境を整えています。

一人ひとりの個性を 大切にした面談指導

本校では、特に生徒との面談指導の充実を図り、年
間5回の面談指導週間を設定しています。「学業と
人間形成の両面において、生徒一人ひとりを大切に
育てる」という教育方針の実現に向けた、具体的な
方法の1つです。

学習に適した施設

○全HR教室・選択教室にエアコン完備
○自習室(東陵室:約90人収容)にエアコン完備
平日は19:00まで利用可能、
休日開放も行っています。

年度別進学状況

卒業年度		令和 3 年度 (57 期生)	令和 4 年度 (58 期生)	令和 5 年度 (59 期生)	令和 6 年度 (60 期生)	令和 7 年度 (61 期生)
卒業生数		275	262	280	277	273
進学志望者数		273	262	278	277	273
大 学	国 立	69	77	88	99	72
	公 立	54	55	57	37	47
	私 立	113	110	110	101	115
短 期 大 学	国 立	0	0	0	0	0
	公 立	1	0	0	0	0
	私 立	1	0	0	0	1
文科省 所管外	大学校	0	1	0	0	1
	短大校	0	1	0	0	0
専修学校等		9	2	6	5	6
就 職		2	0	2	0	1
就職進学		0	1	0	0	0
家事・家業		0	0	0	0	0
進学準備		24	14	15	35	30
その他(留学準備)		2	2	2	0	0

伊東 千沙希
生徒会長
3年 美術部(末広中出身)

出会いと挑戦で広がる未来

進路に悩むことは、決して特別なことではありません。何をしたいのか分からない、そんな時間も大切な過程だと思います。東高には、日々の学校生活や行事、さまざまな活動の中で、自分の興味や可能性に気づきかけがあります。
私は東高に入学して、生徒会長にチャレンジしました。しかしそれは決して一人で成し遂げたものではなく、支えてくれた友達や先生方の存在があったからこそ実現できたものです。生徒会活動に限らず、苦しい勉強や部活動においても、東高の仲間は真摯に、ひたむきに支えてくれる心強い存在になるでしょう。
東高では、生徒一人一人が挑戦できる環境の中で、仲間と協力し、ときには競い合いながら、自分自身を成長させていくことができます。そうした経験の積み重ねが、かけがえのない思い出となり、これからの自分を支えてくれるはずです。
皆さんが選ぶ一つの道が、これからの自分をつくっていきます。その中で、東高という場所も心に留めてもらえたら嬉しいです。

杉山 幸志朗
東北大学 工学部 電気情報理工学科
野球部(服織中出身)

仲間と全力で

私が高校生活の3年間を充実させることができたのは、部活にも、勉強にも全力で打ち込める仲間とそれを支えてくださる先生方のおかげだったと強く感じています。1、2年生の時は大量の課題に加え、部活の練習が土日もあり、大変で休みたくない日がありました。そんな日も同じ境遇の仲間とともに励まし合いながら乗り越えてくれたことが、受験勉強も仲間とともに乗り越えることができたことに繋がったと思います。
文武両道を体現するというのは非常に難しいことだと思っていましたが、東高には両方に全力で取り組める仲間がたくさんいました。また、それを全力でサポートしてくださる先生方がいました。そんな素晴らしい環境が私のモチベーションを高め、最後まで走り切る力をくれたと感じています。東高に進学して本当に良かったと思っています。皆さんも東高で最高の仲間たちと充実した3年間を送ってください!

花森 奏太
慶応義塾大学 商学部 商学科
ソフトテニス部(静岡大成中出身)

文武両道で駆け抜けた3年間

私がこの3年間で最も実感したのは、東高には「何事にも全力で取り組む仲間と、それを支えてくれる環境」があるということです。入学当初は部活動と日々の予習復習、課題、そして学校行事の準備を両立できるか不安でいっぱいでした。しかし、本校の先生方は効率的な学習方法を丁寧に指導してくださり、課題や予習復習の質と速度が高まり、部活や学校行事に時間を割く余裕ができました。また、本校には東陵室という自習室が備わっており、勉強を習慣化するのに非常に役立ちました。部活動で疲れ、「勉強したくないなあ」と思うことが何度もありましたが、勉強をがんばっている同級生の姿、そして本校のスローガンである「自分に負けるな」という言葉を思い出し、どんなに疲れた日でも勉強することができました。本校の学校行事は魅力的なものが多く、クラスメイトとの絆を深められるものでした。クラスメイトと楽しんだ文化祭や体育祭はとても良い思い出です。勉強、部活、行事のすべてを妥協せずにやり遂げたいと考えている皆さん、ここには最高の3年間をともに過ごせる仲間と環境が整っています。受験勉強は大変だと思いますが、その先にある充実した高校生活を楽しみに、最後まで頑張ってください。

池尻 光輝
応援団長
2年 応援団リーダー部(清水袖師中出身)

支えられる環境

私が所属している応援団リーダー部の部員は、現在、自分一人だけです。しかし、支えてくれる人まで含めると、決してそうではありません。毎年、全校で盛り上がる野球応援では、東高生・先生方・卒業生など多くの方々から声をかけていただきました。世代を問わず東高に関わるすべての人に支えられていることを実感しました。勉強面では、中学時代にほとんど勉強に取り組んでこなかったこともあり、入学した時は不安がありました。しかし、放課後、自習ができるスペースや、一緒に勉強できる仲間、そして、分からないことがあっても職員室で親身に教えてくださる先生方がいます。これらのおかげで、自分も主体的に勉強するようになりました。ここまで支えられているからこそ、生徒実行目標のように「自分に負けずに挑戦すること」ができます。本当に、東高に入学して良かったと思います。

濱田 倅杏
東京科学大学 生命理工学院
新体操部(東豊田中出身)

できるまでできる

文武両道の高校生活を送りたい。私が静岡東高校に入学した理由です。新体操部に所属し、部活から帰ったら勉強、部活に行くまで勉強、部活がないから勉強。慌ただしい毎日を繰り返すうちに、時間の使い方や優先順位の立て方などを覚え、どちらにも全力で取り組めるようになりました。
最初はもちろん不安でした。ですが、徐々に新たな気づきを得て、自分に合った生活の形を確立することができたと考えています。
東高での3年間、様々な活動を体験することで、勉強の面でも人間性の面でも、大きく変わったと思う日は必ず来ます。
周りの仲間の存在や先生方のサポートが、私たちを成長させてくれます。挑戦してみてください。応援しています。できるまでできる時間と環境が、ここにはあります。

山梨 巧視
大阪大学 理学部 化学科
百人一首部(観山中出身)

仲間と全力になれる場所

私の高校生活は、周りにいる友達や先生方の助けのおかげで何事にも全力で取り組み、非常に充実したものになりました。1、2年生のころには、百人一首部に所属し、自分の課題の克服に邁進したり、仲間の改善点を指摘しあったりすることでともに切磋琢磨して全力で部活に取り組めました。大会に出るときには、先生の引率や一緒に出場した仲間の応援のおかげで全力に試合に臨み、いい結果を残したり、逆に仲間が試合に出ているときは、自分が全力で応援したりと仲間と全力になることができました。3年生では、友達と問題を教えあい、わからない問題があったら頼れる先生に疑問点を聞きに行き、ともに大学受験という大きな壁に立ち向かうことができました。受験は辛いことも多かったですが、それを乗り越えられたのはともに戦っている仲間の存在があったからです。東高でなければこれほど何事にも全力で取り組むことはできなかったでしょう。
高校は小学校、中学校とは違い、同じレベルの人が集まります。だからこそ最高の仲間ができやすいのです。みなさんもすばらしい仲間のいるこの東高で、何事にも全力で取り組んでみてください! ようこそ東高へ!